

町政を問う!

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



中村 由美子議員 (11ページ)

- ① 芳賀中学校の制服について
- ② いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催に向けての対応



北條 勲議員 (12ページ)

- ① 中学生の登下校時について
- ② 投票時間の繰上げについて



小林 一男議員 (13ページ)

- ① ICT教育について

次回の定例会は 5月31日からの予定です。

ただ今、多人数の傍聴受け入れは自粛
させていただいております。
議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の
行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、
所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受
ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、
通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以
内とされています。

中村由美子が問う 芳賀中学校の制服について



問 女子生徒のスラックス採用の考えは？

答 教育長 創立50周年に合わせ令和2年度に、防犯とジェンダーレスの観点から、ジャージの色とデザインを変更し男女統一にしました。制服については昨年教職員と生徒代表で検討され、防寒や機能面からスラックス導入を決定し、令和4年4月から着用が認められます。学校生活の決まりは学校長の権限と責任で決定するものであり、町は意見する立場ではありません。

●最後に、今後町としてもジェンダーニュートラルを考えていかなければならず、教育委員会からも方向性や意見等を発信できると思います。すべての生徒たちのため、また町として社会全体の課題として考えるよう希望しました。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催に向けての対応を問う

問 町全体を盛り上げる現在までの取り組みと今後の予定は？

答 教育長 県作成のチラシ等を公共施設に設置し、小中学生に配布しました。また、いちご一会花いっぱい運動を実施し、小中学校に協力いただき100鉢を栽培し、子どもたちのメッセージを添え第2体育館に設置しました。今後の予定は、県選手団のユニフォームの展示、国体応援グッズを作成・頒布し周知を図ります。6月のママさんバレーの開会式では国体炬火イベントを行います。

問 はが広報や芳賀チャンネルの対応は？

答 企画課長 国体関連の広報等については、取り上げる機会を増やして町民全体の機運醸成を図りたいと考えています。

問 県代表選手(町在住)への対応は？

答 企画課長 地元開催ということで、これまで以上に選手の情報等の収集に努め、町を挙げて選手の応援をしていきます。

問 選手関係者へのおもてなしの具体的内容は？

答 教育長 町の特産品を記念品として贈呈したいと考えています。また、道の駅などの協力を得て特産品の販売やキッチンカーの出店等も検討しています。

問 会場整備や協力体制は？

答 生涯学習課長 第2体育館の屋根の改修については、国体には間に合いませんが令和5年度以降計画的に考えています。

協力体制については、中高生のボランティアを募り、町PRグッズの配布や会場案内をお願いし、社会体験の機会になればと思い計画しています。

●最後に、42年ぶりに開催される県の大イベントです。担当課だけでなく全部局をあげての位置づけで、選手関係者はもちろん町民にとっても、町長・教育長はじめ職員にとっても思い出に残る大会になるよう希望しました。





北條勲が問う 中学生の登下校時について

問 女子生徒にスラックスの着用を認めているのか、校則は。

答 教育長 令和3年10月に着用を承認しました。芳賀中では校則と呼ばず芳賀中学校生徒心得により学校生活の決まりを定めています。

問 他市町ではスラックス着用が新聞に載っている。当町も新聞に載っていれば質問しなかった。町のPRを今後新聞に載せる考えは。

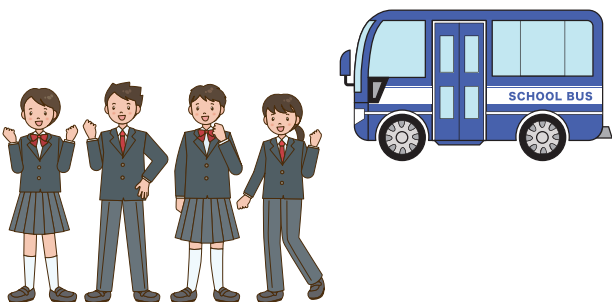
答 企画課長 各課から新聞報道各社に情報提供の回数を増やして実施しています。

問 登下校時に保護者が送迎しているが、それに関する規則等はあるのか。また、送迎する理由と現在何人か。

答 教育長 登下校の通学手段を指定する決まりはありません。送迎に対して町第2体育館の駐車場を指定しています。理由は家庭の事情や生徒の体調等によります。送迎の人数は、おおよそ通常は50人、雨天時は180人、降雪時は240人と把握しています。

問 議会だよりの新成人の文書の中に、交通の便が悪く通学等において親の負担が大きかったとある。中学校にスクールバス等を検討した事は。

答 学校教育課長 検討した事はありません。保護者から要望が出た時点で検討します。



投票時間の繰上げについて

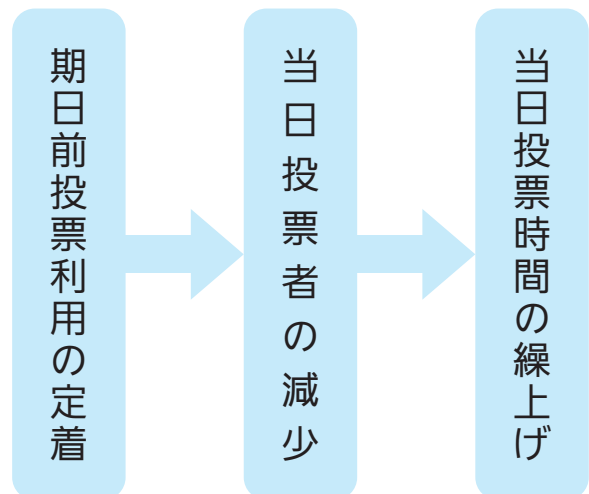
問 期日前投票制度は18年前から実施され定着し、多くの自治体では投票日の投票時間の繰上げを実施しているが、当町では。

答 選挙管理委員長 2016年9月で慎重に議論しますとの答弁をしました。2020年6月の定例委員会で議論したが結論は出ませんでした。実施できるよう前向きに早期に検討します。

問 6年経過しても結論は出ない。会議を開かない理由は。

答 選挙管理委員会書記長 トレーニングセンターがコロナワクチン接種の会場になり、投票所や開票所として使えない問題が中心で、繰上げまで議論が至らなかったためです。

●最後に、結論を夏の参議院議員選挙に間に合うように。



小林一男が問う

小中学校におけるICT機器、 学習者用端末の利活用について



問 国のGIGAスクール構想を受け、芳賀町では昨年度、ICT機器、学習者用端末を小中学生に1台ずつ貸与し、授業の中で利活用することとなった。学校教育の在り方が大きく変わることとなるデジタル端末導入から1年が過ぎ、その活用状況について伺う。

答 教育長 高度に情報化されたSociety5.0[※]社会を生きる子どもたちを育むため、1人1台の端末と高速通信環境を整備し、多様な子どもたち一人一人に個別最適化された教育を実現することを目的としています。

問 端末をiPadとしたが、OSの違いなどから先生方に混乱はなかったか。また、負担増に対する対応はどうなっているのか。

答 教育長 端末の基本操作から始まり、順次授業でも活用していけるように段階的スケジュールを設定し、ICT支援員を派遣し対応しました。

問 郡内の小中学校で端末の機種やソフトウェアが異なっているようだが、先生方の異動によりその違いが新たな負担とならないか。

答 学校教育課長 ICT支援員による授業支援や個別もしくは合同研修を考えています。

問 ICT機器や導入したソフトウェアの授業での活用はどうなっているのか。

答 教育長 端末の導入時から授業支援ソフトを採用し、操作性の簡単なものから順次活用しています。ドリル学習ソフトは使いやすく、子どもたちの順応するスピードは想定を超えたものとなっています。町が取り組んでいる学び合いづくりにも通ずる部分が多く、新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学びを実現するためにもとても有効です。

問 今後、端末を家庭学習にも活用されると考えられるが、フィルタリングを含め問題点は何か。

答 教育長 子どもに貸与した端末を使い家庭でインターネットを利用する際に、有害なサイトにアクセスさせない、SNS等を利用させないなどの利用制限を講じ、安心・安全に端末が利用できるよう対策を講じています。

問 コロナウイルスの流行等により、リモート授業を試した学校もあるようだが、家庭のWi-Fiの現状はどうなっているのか、またWi-Fiのない家庭への対応はどうするのか。

答 学校教育課長 令和3年9月の調査では約97%の家庭で何らかのWi-Fi通信環境があると把握しています。ない家庭にはモバイルWi-Fi等の端末貸し出しができるよう準備検討中です。

※Society5.0とは……「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)」と内閣府で定義されている

